

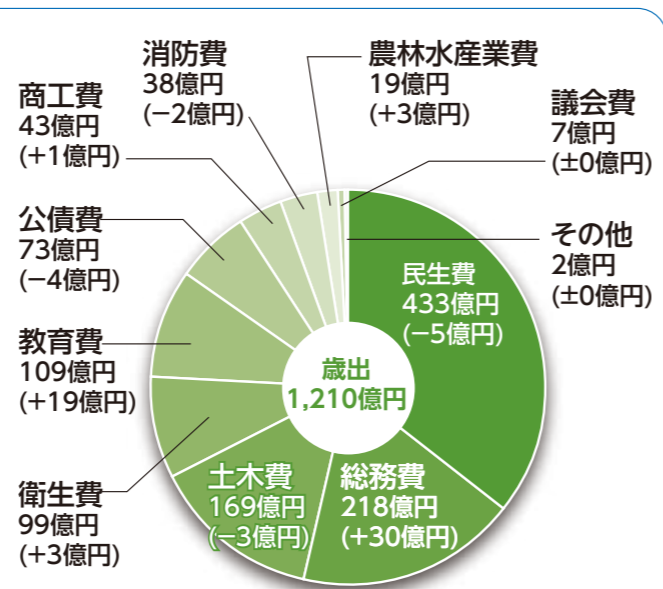
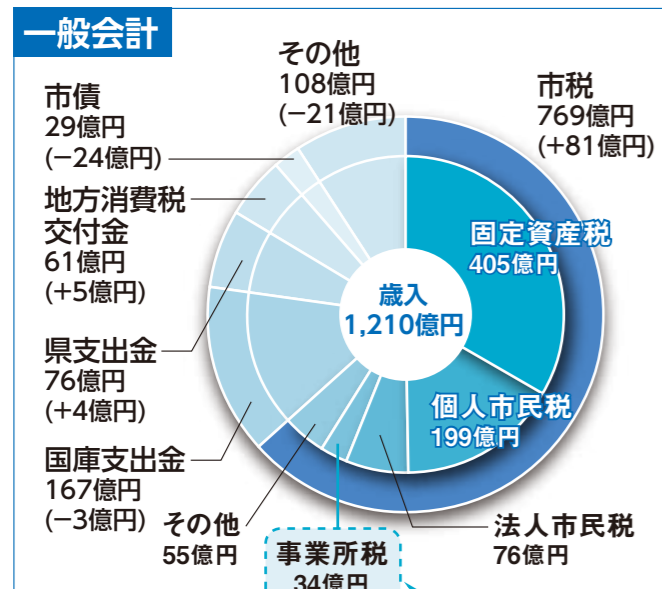
元気大盛り 1,210億円予算

「元気大盛り1,210億円予算」と銘打った2019年度当初予算は、一般会計で初めて1,200億円を超え、過去最大の予算規模となりました。「31万人元気都市四日市」を実現するため、どのようなことにお金を使っていくのか紹介します。(数字は端数調整しているため、合計が合わない場合があります)

今回の特集の内容は市政情報等提供番組「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。
●地デジ12ch(CTY)
●5月11日(土)～20日(月)に放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30



一般会計	特別会計など	企業会計
1,210億円 (前年度比+3.6%)	762億1,810万円 (前年度比±0.0%)	652億3,690万円 (前年度比-1.7%)
行政運営の基本的な経費を計上する会計(子育てや教育、防災、福祉、道路整備など)	一般会計とは区別して経理する会計(国民健康保険、介護保険、競輪の運営など)	地方公営企業法に基づく公営企業を経理する会計(上下水道、市立四日市病院)
予算額(総額) 2,625億130万円(前年度比+1.2%)		



<主な増減>
◆市内企業の大規模投資などによる市税の増
◆市債の借り控えや児童発達支援センターあけぼの学園の整備完了などによる市債の減

<主な増減>
◆あけぼの学園移転整備事業費などの減による民生費の減
◆国体関連施設の整備や文化会館の大規模改修などによる総務費の増
◆下水道事業会計への繰出金や車両更新の完了に伴うあすなろう鉄道運行事業費などの減による土木費の減

市民1人当たりに使われるお金は約39万円※です。市に納められた税金約25万円に、国・県の補助金などを加えた金額を財源として、市民1人当たり約39万円の事業が行われます。
※2019年度一般会計歳入・歳出予算を人口(2019年4月1日現在311,431人)で割った額



市民1人当たりの内訳
一般会計歳出予算(目的別)
388,529円

民生費 139,220円
高齢者・障害者の福祉、子どもの医療費助成、認定こども園の整備、生活保護などに使われます

土木費 54,199円
道路や河川、公園などの整備や維持管理のために使われます

衛生費 31,765円
健康診断・予防接種などの保健衛生やごみ収集・処理などに使われます

商工費 13,809円
商工業の振興のために使われます

農林水産業費 6,067円
農業・漁業などの振興のために使われます

その他 621円
急に支出を必要とする場合に備えて用意しているお金など

総務費 69,946円
防災や文化振興、スポーツ振興などのために使われます

教育費 34,947円
小・中学校の学校教育や生涯学習の推進などのために使われます

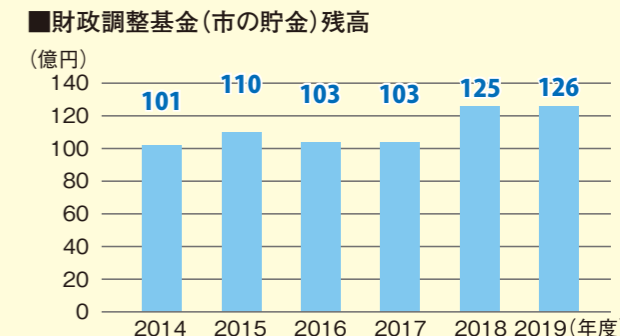
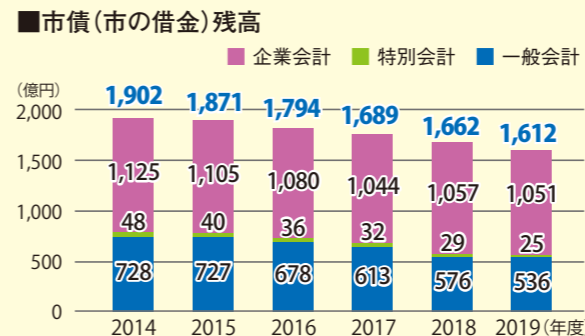
公債費 23,509円
市の借入金の返済に使われます

消防費 12,310円
消防・救急活動に使われます

議会費 2,135円
市議会運営・活動に使われます

財政の健全化を進めています

本市では、「行財政改革プラン2017」に基づき、将来にわたり持続可能な行財政運営を行っています。その結果、市債(市の借金)残高は着実に減少し、財政調整基金(市の貯金)も100億円以上を確保しています。



31万人元気都市四日市 を実現するために

わが国では2008年から人口減少が続いており、出生数が100万人を割るなど、人口減少に歯止めがかからない状況となっています。そのような中、本市は就職や転勤などによる20代の増加などによって人口が8年ぶりに増加に転じ、皆さんから「選ばれるまち」になりつつあります。2019年度は、引き続き定住人口をめぐる都市間競争を勝ち抜くため、「子育て・教育支援」の充実を図るとともに、名古屋圏で「存在感」を示し、「31万人元気都市四日市」を実現するため、七つの基本方針を掲げて新たな取り組みに積極的にチャレンジしていきます。ここでは、七つの基本方針の主な事業を紹介します。



1 子育て・教育支援～子育てするなら四日市、教育するなら四日市～

拡充 地域型保育事業費

6億2,202万円

0～2歳児の保育を行う小規模保育施設などの17施設（新規3施設を含む）の事業所に対して、運営費の一部を支給します。



新規 任意予防接種助成事業費

3,167万円

任意予防接種の「ロタウイルスワクチン」について、集団発生および症状の重症化を抑止するため、接種費用を新たに助成します。



海蔵小学校改築整備事業費

14億4,800万円

海蔵小学校の学習環境の充実・改善を図るため、老朽化したベランダ形式校舎の改築工事および運動場整備の設計を行います。

2019年度…校舎整備完了予定
2020年度…運動場整備完了予定



拡充 学校業務サポート事業費

9,099万円

全小・中学校に学校業務アシスタントを配置するほか、各校で管理している児童・生徒や教職員に関する情報を全校統一のシステムで管理できるよう、校務支援システムを導入します。



学校業務アシスタント

霞ヶ浦緑地運動施設整備事業費(国体関係)・中央緑地運動施設整備事業費(国体関係)

55億3,100万円

2021年の三重とこわか国体・三重とこわか大会開催に向けて、霞ヶ浦緑地に新野球場を、中央緑地に四日市市総合体育館、トリムコースを整備します。



文化会館大規模改修事業費

12億5,464万円

10月のリニューアルオープンに向けて、第1・第2ホールの吊天井崩落対策工事などを実施します。



2 産業の振興～地域経済の活性化～

新規 産学官連携事業推進費

600万円


2019年2月、近鉄四日市駅西側エリアに、三重大学北勢サテライトおよび東京大学地域未来社会連携研究機構のサテライト拠点が設置されたことに伴い、市内企業と大学等研究機関などの産学官の連携を強化し、地域産業の競争力強化などの取り組みにつながる調査研究を行います。



新規 中小企業人材確保支援事業費

750万円

転職フェアにおいて市が出展ブースを確保し、市内中小企業にブースを提供します。また、中小企業が単独で就職フェアや転職フェアに出展する場合は、その費用の一部を補助します。



3 まちの賑わいの創出～魅力あふれる中心市街地～

社会資本整備総合交付金事業費(道路)

2億3,500万円


商工業などの経済活動の活性化や交通機能の強化を図るため、国・県道の広域道路ネットワークと連携した市内の道路整備を行います。
(小杉新町2号線、泊小古曾線)



産業支援・生活拠点道路再生事業費

6億4,962万円

産業支援道路や生活拠点道路のうち、舗装劣化が進んでいる路線を計画的に再舗装することで、安全で快適な道路の機能維持を図ります。また、近年著しい渋滞が発生している交通ネック箇所の改良を進めます。
[千歳町小生線、西阿倉川62号線(阿倉川西富田線交差点改良)など]



4 地域力の向上 ～市民による安全・安心なまちづくり～

拡充 地区市民センター整備事業費

1億560万円

全地区市民センターにUPS(無停電電源装置)を設置することにより、停電時における窓口業務の継続や、地域防災拠点としての機能の充実を図ります。また、全地区市民センターの窓口に防犯カメラを設置することにより、窓口業務などにおける安全性向上に努めます。



5 福祉・医療の充実 ～地域包括ケアシステムの構築～

新規 内視鏡下手術支援ロボット購入費

3億1,500万円

内視鏡下手術支援ロボットを導入し、精緻な手術による安全性の向上とともに、患者への負担軽減などを図り、高度急性期病院としての医療機能を強化します。



6 市役所改革 ～行財政改革～

新規 AI等を活用した庁内業務改善事業費

1,737万円

働き方改革を推進するため、AI等の活用による業務改善の効果が見込まれるものについて、効果分析などの検討を行った上で本格導入します。



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

7 シティプロモーション ～名古屋圏で大きな存在感を～

拡充 シティプロモーション事業費

4,130万円

大都市圏でのイベント開催、ラジオ番組によるシティプロモーション活動のほか、新たな市PR動画を作成します。



財政課 ☎ 354-8130 FAX 359-0275
広報マーケティング課 ☎ 354-8244 FAX 354-8315